

読者アンケートへのご協力をお願いします!

いつも会報『育友』をご覧いただきありがとうございます。誌面作りの参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願いします。右のQRコードから回答フォームにアクセスいただき、ご回答をお願いします。

読者アンケートにご協力いただいた方の中から、先着で30名に大学公認の専大グッズを進呈いたします。

11月19日(金)までにご回答ください。

※入力された個人情報は、育友会本部・支部活動の目的以外には使用しません。

※住所変更が生じた場合は、ご子女から教務課窓口へお伝えください。

回答はこちら



会報『育友』の専修コミュニティへの投稿に興味のある方、シブコンスタッフに興味のある方は、読者アンケートフォームにあるチェック欄に☑してください。

読者の声

166 夏号を読まれた方から感想をいただきました。その一部をご紹介します。このコーナーに掲載された方には専大グッズを進呈いたします。

毎号楽しみにしているのが「教えてあなたの○○」です。息子と同じような年齢の子たちの表情、感じていることを知り、ホッとしたり、ドキッとしたり(笑)。コロナ前の学生生活、思い描いていた大学生活とは違うかもしれませんが、たくましく過ごしている子たちを拝見して、負けていけない、そして親の私にできることは何かと考えさせられます。神奈川西・Iさん

コロナ禍でインタビュー自体も困難な中、登場してくれる学生には感謝しかありません。それだけ貴重なコーナーですね。

この春から専修大学に入学して、それと同時に一人暮らしを始めた息子。コロナ禍ということもあり、私はまだ一度も専修大学生田キャンパスを見に行ったことがありません。『育友』には多方面の情報が掲載されており、何か安心するような思いで見えています。新潟(長岡)・Iさん

編集者冥利に尽きるご投稿、ありがとうございます。遠く離れたご息子との窓の役割が果たせているのを誇りに思います。

写真が多く、学校の様子が分かりました。学生の生き生きとした笑顔を見て、励まされる思いがしました。また、支部長メッセージから、例年の様子や地域の様子が伝わり楽しく読ませていただきました。神奈川東・Oさん

デジタル全盛のご時世に紙媒体の限界に挑みつつ、ライブ感あふれる楽しい誌面を心掛けています。引き続きご愛顧を。

佐々木学長と学生とのスペシャル座談会は、コロナ禍の中でもただ悲観的になるのではなく、そのような環境下でもできることを見つけながら生活している学生の姿を窺い知ることができて、とても興味深い内容でした。また、全国の各支部長のメッセージが掲載されており、専修大学の裾野の広さと強い連携を感じることができました。埼玉・Kさん

大学と育友会の連携力の強さを象徴する記事でしたね。コロナ禍の学生のため、何ができるかを考え実行に移していきます。

(担当: 宍戸真編集委員)

編集後記

育友167号はいかがでしたでしょうか? 今号では会員の皆様に参加していただく支部懇談会(シブコン)を特集し、各支部の様子を誌面でお届けできると編集者も気合い!?を入れておりましたが、コロナ禍ゆえにほとんどの支部が中止となってしまいました。幸いにも開催できた支部の様子をご報告しております。どうぞご覧いただき、来年の支部懇談会に繋がれたらと思います。

特集①「オンライン授業に関するアンケート調査2021」や「教えてあなたの○○」のテーマとした「コロナが収まったらやりた

いこと」等は、学生の不安や希望の一端を感じていただければと構成しました。安心安全な生活が送れるよう情報をお伝えしてまいります。

また私が編集後記を執筆するにあたり、『育友』を(しっかり)読み返しておりましたら、所々にQRコードが出ておりました。必要な情報に簡単にアクセスできます。また部活、サークル活動の様子が動画で現れて、まるでハリーポッターの魔法使いの世界が実現されている感じがいたしました。

会員の皆様の「こんなことが知りたい」やご意見が誌面を盛り上げてくれますので、上記の読者アンケートのQRコードからアクセスお待ちしております。

お読みいただきありがとうございました。

(担当: 村松照子編集委員)